

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年8月13日(2015.8.13)

【公開番号】特開2014-8282(P2014-8282A)

【公開日】平成26年1月20日(2014.1.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-003

【出願番号】特願2012-147746(P2012-147746)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/14 (2006.01)

A 6 1 N 1/05 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/14

A 6 1 N 1/05

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月26日(2015.6.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生体に埋植される電極を備える生体埋植装置において、

前記電極を、生体適合性と導電性を有し、生体に入射される光束の少なくとも一部を透過する透明性の導電材料で形成することを特徴とする生体埋植装置。

【請求項2】

前記電極に接続される導線と、前記電極及び前記導線が設置される基板とを備え、

前記導線および前記基盤の少なくともいずれかを、生体適合性と導電性を有し、生体に入射される光束の少なくとも一部を透過する前記透明性の材料で形成する請求項1に記載の生体埋植装置。

【請求項3】

生体組織を電気刺激する生体埋植装置の製造方法であって、

透明性の導電材料で、電極と前記電極に接続される導線を形成する第1工程と、

前記第1工程で形成された前記電極の基部及び導線間を透明性の絶縁材料で絶縁し電極基板を形成する第2工程を有することを特徴とする生体埋植装置の製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(1) 生体に埋植される電極を備える生体埋植装置において、前記電極を、生体適合性と導電性を有し、生体に入射される光束の少なくとも一部を透過する透明性の導電材料で形成することを特徴とする生体埋植装置。

(2) 前記電極に接続される導線と、前記電極及び前記導線が設置される基板とを備え、

前記導線および前記基盤の少なくともいずれかを、生体適合性と導電性を有し、生体に入射される光束の少なくとも一部を透過する前記透明性の材料で形成する(1)に記載の

生体埋植装置。

(3) 生体組織を電気刺激する生体埋植装置の製造方法であって、

透明性の導電材料で、電極と前記電極に接続される導線を形成する第1工程と、

前記第1工程で形成された前記電極の基部及び導線間を透明性の絶縁材料で絶縁し電極基板を形成する第2工程を有することを特徴とする生体埋植装置の製造方法。